

## 本当に大丈夫？ 横曽根工業団地

5月27日に大垣市都市計画景観審議会が開催され、「横曽根工業団地」の「地区計画」が議案として出されています。この「横曽根工業団地」についての取り組みは、平成19年頃から調査研究などがなされ、平成20年度より、取り組まれてきました。しかし、リーマンショック以来、経済の悪化もあり、疑問視する声も出ています。現在、この土地は市街化調整区域の農地になっており、開発行為を行うため「地区計画」の策定が必要になり、今回の審議会が議案として出されたものです。その概要については、以下の通りです。



←太平洋工業とウエルネス流通センターのすぐ南の地区です。

### 横曽根工業団地整備について

名称：横曽根工業団地地区 地区計画

位置：大垣市横曽根2, 3丁目の一部

面積：約5.2ha

目標：本地区は、国道258号線を介して名神高速道路大垣インターチェンジが近く、交通利便性に優れ、北側に隣接する浅西地区は大垣市鉄工工業団地など工業集積地である。都市計画マスタープランでは、「交通の利便性を活かした工業団地整備に係る工業系の土地利用を誘導する」と位置付けられており、産業集積地を形成するために、地区計画を決定する。

本地区では、製造業を中心とした企業の新たな工業用地として特化した土地利用を誘導する。

### 経過 経済委員会議事録より

平成22年3月議会

I委員「現在の経済状況の中でオープンしたわ、ペンペン草が生えるまで誰も手を出してこなかったという話では・・・」と懸念の声。それに対して「生産の方はリーマンショック以前の水準に回復されている企業

もどンドン増えておられ・・・希望的ですが回復基調・・・」と産業振興室長の答弁。

平成22年12月議会

産業振興室長より報告。10月30日に地域説明会を行い、理解を得ている。今後のスケジュールは、市街化調整区域の農地であるため、開発行為を行うため地区計画を策定が前提条件。農地転用許可は平成23年夏ごろに農林水産大臣の許可を得る予定、その後用地買収を行い、稲の刈取り後に造成工事に着手。平成24年度末に完成予定。

委員等から「事業規模がどれだけ、造成工事がどれだけかかるのか」「いくらで売れるのか」といった質問が出されるが、明らかにされませんでした。委員外から「大変景気が悪い中で工業団地として売れるのか」といった疑問や、「大垣市の土地開発公社は塩漬けの土地を多数抱えており、更に土地を取得して果たして大丈夫か」といった意見が出ておりました。

以上が、「横曽根工業団地」に関する経済委員会でのやり取りです。

今回の3月11日の東日本大震災以降、ほとんどこのような工場誘致の動きはストップしており、今あえて開発計画をすすめなければならない必要があるとは思えません。もう少し経済情勢を見極めることが必要と感じます。また、この地域は、地盤が大変弱く、基礎工事を行うにも相当の資金がかかるとも言われています。そのあたりの見通しがまだはっきりしていないところで、進めるのはいかがなものでしょうか。